



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月8日
上場取引所 東

上場会社名 サトーホールディングス株式会社
コード番号 6287 URL <https://www.sato.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 グループCEO (氏名) 小沼宏行
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO兼COO (氏名) 松本房晃 TEL 03-6628-2423
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	33,989	0.9	2,160	161.9	2,071	1.1	1,304	9.1
2023年3月期第1四半期	33,686	11.6	824	△51.7	2,049	24.6	1,195	10.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,018百万円 (△63.0%) 2023年3月期第1四半期 8,162百万円 (349.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	40.28	40.27
2023年3月期第1四半期	35.66	35.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	125,170	69,565	53.7	2,074.53
2023年3月期	122,858	67,694	53.3	2,020.83

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 67,215百万円 2023年3月期 65,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	36.00	-	36.00	72.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	36.00	-	36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	68,000	△3.5	3,300	△12.6	3,200	△35.6	2,000	△38.1	61.75
通期	140,000	△2.0	8,000	△9.5	7,800	△14.0	5,000	19.5	154.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	34,921,242株	2023年3月期	34,921,242株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,520,802株	2023年3月期	2,532,252株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	32,390,610株	2023年3月期1Q	33,531,635株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「お客さまに最も信頼され、お客さまと共に成長し、変わりゆく社会から必要とされ続ける会社になること。」というビジョン実現のため、経営方針や成長戦略及び経営目標等を定めた3カ年の中期経営計画(2021～2023年度)を策定し、実行に移しております。

多様な市場・業界において現場の人やモノに情報をひも付けてリアルタイムに情報を吸い上げ、価値あるデータに転換してお客さまの上位システム等に届ける「タギング」を軸にしたソリューションで、個々の現場やサプライチェーン、ひいてはサーキュラーエコノミーまでを最適化する「自動認識ソリューション事業」に経営資源を傾注します。こうしたデータの取得・蓄積による見える化によって、社会の動きを最適化しお手伝いをし、持続可能な社会の実現に貢献する「Tagging for Sustainability」の実現を長期に亘り目指してまいります。そのアジェンダとしては、海外事業では自動認識ソリューションによる課題解決を横展開し事業成長を促進させ、また日本事業ではバリューチェーンを切り口に「売る力」と「稼ぐ力」を向上させる「①グローバル事業戦略」、タギング技術の高度化(自動化、RFID、センサー、ソフトウェア開発等)、またデータビジネスなどTagging for Sustainability型の新規事業創出を目論む「②イノベーション・R&D」、お客さまへの提供価値の追究や気候変動対応の強化など社会的価値の創造、またコーポレート・ガバナンスの強化や人的資本経営の強化など企業価値の向上を目指す「③サステナビリティ経営」の3つを設定し、それぞれを有機的につなげ、多角的視座で戦略投資・資源配分を的確に実施し、事業・収益の持続的成長に向けた取り組みを推進しています。

当期におきましては、地政学リスクや景気後退の懸念、インフレや円安の進行など先行き不透明な状況の中、省人化や省力化、見える化に対する旺盛な需要を確実に捉えることができました。特にプライマリーラベルを専業とする各社を含む海外事業が増収増益に大きく寄与しました。これらにより第1四半期連結累計期間の売上高及び営業利益は過去最高となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は33,989百万円(前年同期比100.9%)、営業利益2,160百万円(同261.9%)、経常利益2,071百万円(同101.1%)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,304百万円(同109.1%)となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりです。

<自動認識ソリューション事業(日本)>

日本事業においては、RFIDのソリューションやサプライ製品の価格改定活動の効果で売上高は微増となりましたが、プリンタの輸出の減少やサプライ製品の原材料費の上昇が大きく影響し減益となりました。

市場別では、マニュファクチャリング市場はメカトロ製品、サプライ製品ともに半導体関連需要が一服し、またリテール市場はEコマース業界で前年同期にあったメカトロ製品の大口案件の反動で売上高が減少に転じました。ロジスティクス市場は物流量の増加などを背景にメカトロ製品、サプライ製品ともに売上高が増加しました。公共市場は当第1四半期に大口案件の成約がありメカトロ製品、サプライ製品ともに大幅に伸長しました。

これらの取り組みにより、売上高17,536百万円(前年同期比101.4%)、セグメント損失210百万円(前年同期はセグメント損失8百万円)となりました。

<自動認識ソリューション事業(海外)>

海外事業においては、厳しい事業環境下でも販売を増加させ、第1四半期累計期間として売上高、セグメント利益は過去最高を更新しました。

ベースビジネスにおいては、米州や欧州で景気後退を注視する大手リテール顧客の投資意欲の減退や、代理店でのプリンタ在庫調整の影響を受けて売上高が横ばいとなりましたが、価格改定活動の効果などで粗利率が改善し利益が増加しました。またアジア・オセアニアではインドネシア及びインドの販売子会社で業績が好調に推移し、前年同期にロックダウン影響を受けた中国販売子会社も寄与して売上高は増加しましたが、台湾の販売子会社で代理店の在庫調整による販売の減少が影響し利益は減少しました。

プライマリーラベルを専業とする各社においては、前年度に引き続き食品や飲料、衛生用品といった生活インフラを支える業界向けのニーズが好調に推移し、また価格改定活動も進展したことにより売上高及び利益が増加しました。

これらの取り組みにより、売上高16,452百万円(前年同期比100.4% [為替影響を除く前年同期比103.9%])、セグメント利益2,169百万円(同236.0%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産の残高が81,946百万円（前連結会計年度末は81,137百万円）となり808百万円増加しました。これは主に、商品及び製品の増加（583百万円）、原材料及び貯蔵品の増加（508百万円）等があったことによるものであります。固定資産の残高は43,224百万円（前連結会計年度末は41,721百万円）となり1,502百万円増加しました。これは主に、有形固定資産の建物及び構築物の増加（338百万円）、無形固定資産のソフトウェア仮勘定の増加（580百万円）及びのれんの増加（451百万円）等があったことによるものであります。

負債につきましては、流動負債の残高が42,494百万円（前連結会計年度末は44,963百万円）となり2,468百万円減少しました。これは主に短期借入金の減少（3,099百万円）、電子記録債務の増加（543百万円）等があったことによるものであります。固定負債の残高は13,110百万円（前連結会計年度末は10,200百万円）となり、2,909百万円増加しました。これは主に長期借入金の増加（2,917百万円）等があったことによるものであります。

純資産につきましては、当第1四半期連結会計期間末における残高が69,565百万円（前連結会計年度末は67,694百万円）となり1,870百万円増加しました。これは主にその他の包括利益累計額の増加（1,596百万円）等があったことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ2,014百万円減少し、18,737百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,827百万円の増加となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益2,084百万円、売上債権及び契約資産の減少540百万円等であり、主な減少要因は、法人税等の支出額1,075百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,812百万円の減少となりました。

主な増加要因は、定期預金の払戻による収入1,188百万円等であり、主な減少要因は、定期預金の預入による支出1,188百万円、有形固定資産の取得による支出1,631百万円、無形固定資産の取得671百万円による支出及び連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得による支出566百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,747百万円の減少となりました。

主な増加要因は、長期借入による収入2,930百万円等であり、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出2,947百万円、短期借入金の純増減額354百万円及び配当金の支払額1,144百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日公表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,879	19,936
受取手形、売掛金及び契約資産	27,113	27,155
有価証券	44	47
商品及び製品	13,685	14,268
仕掛品	590	704
原材料及び貯蔵品	12,579	13,087
未収入金	1,763	1,807
その他	3,712	5,169
貸倒引当金	△230	△230
流動資産合計	81,137	81,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,962	14,301
機械装置及び運搬具（純額）	11,602	11,474
土地	3,776	3,909
その他（純額）	2,988	3,447
有形固定資産合計	32,331	33,132
無形固定資産		
ソフトウェア	1,780	1,754
ソフトウェア仮勘定	1,682	2,262
のれん	222	673
その他	687	679
無形固定資産合計	4,372	5,369
投資その他の資産	5,017	4,721
固定資産合計	41,721	43,224
資産合計	122,858	125,170
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,379	6,557
電子記録債務	11,981	12,525
短期借入金	6,364	3,265
契約負債	7,322	7,829
未払金	4,212	3,679
未払法人税等	1,082	771
引当金	1,510	1,477
その他	5,109	6,387
流動負債合計	44,963	42,494
固定負債		
長期借入金	3,613	6,531
リース債務	4,182	4,146
退職給付に係る負債	1,002	1,018
その他	1,401	1,413
固定負債合計	10,200	13,110
負債合計	55,163	55,604

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,468	8,468
資本剰余金	7,764	7,763
利益剰余金	52,061	52,203
自己株式	△4,842	△4,817
株主資本合計	63,451	63,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△408	△1,001
為替換算調整勘定	2,272	4,524
退職給付に係る調整累計額	136	75
その他の包括利益累計額合計	2,001	3,597
新株予約権	28	19
非支配株主持分	2,213	2,330
純資産合計	67,694	69,565
負債純資産合計	122,858	125,170

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	33,686	33,989
売上原価	21,062	20,315
売上総利益	12,623	13,673
販売費及び一般管理費	11,798	11,513
営業利益	824	2,160
営業外収益		
受取利息	30	118
受取配当金	41	0
為替差益	1,162	—
その他	66	40
営業外収益合計	1,300	159
営業外費用		
支払利息	51	75
為替差損	—	144
支払補償費	0	—
その他	24	27
営業外費用合計	76	248
経常利益	2,049	2,071
特別利益		
固定資産売却益	12	16
特別利益合計	12	16
特別損失		
固定資産除却損	0	1
固定資産売却損	11	—
事業再編損	0	0
退職給付費用	—	2
その他	2	—
特別損失合計	14	4
税金等調整前四半期純利益	2,047	2,084
法人税、住民税及び事業税	496	709
法人税等調整額	23	△96
法人税等合計	520	613
四半期純利益	1,527	1,470
非支配株主に帰属する四半期純利益	331	166
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,195	1,304

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,527	1,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△197	△592
為替換算調整勘定	6,842	2,201
退職給付に係る調整額	△9	△61
その他の包括利益合計	6,635	1,547
四半期包括利益	8,162	3,018
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,658	2,901
非支配株主に係る四半期包括利益	1,504	117

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,047	2,084
減価償却費	1,224	1,191
のれん償却額	76	37
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△16
固定資産除却損	0	1
事業再編損	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△105	△164
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	△8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△56	217
受取利息及び受取配当金	△71	△119
支払利息	51	75
為替差損益 (△は益)	△1,223	△106
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	2,948	540
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,559	15
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,006	△116
未払金の増減額 (△は減少)	60	△427
その他	△721	△345
小計	668	2,860
利息及び配当金の受取額	71	119
利息の支払額	△51	△75
法人税等の支払額	△810	△1,075
事業再編による支出	△0	△0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△122	1,827
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,188
定期預金の払戻による収入	3,000	1,188
有形固定資産の取得による支出	△1,198	△1,631
無形固定資産の取得による支出	△252	△671
有形及び無形固定資産の売却による収入	91	17
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△566
その他	31	39
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,671	△2,812
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	415	△354
長期借入れによる収入	—	2,930
長期借入金の返済による支出	—	△2,947
リース債務の返済による支出	△289	△245
配当金の支払額	△1,162	△1,144
自己株式の取得による支出	△437	—
その他	0	14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,473	△1,747
現金及び現金同等物に係る換算差額	759	717
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	834	△2,014
現金及び現金同等物の期首残高	19,140	20,751
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,975	18,737

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動認識ソリューション事業(日本)	自動認識ソリューション事業(海外)	合計
売上高			
外部顧客への売上高	17,291	16,394	33,686
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,373	3,023	5,396
計	19,664	19,418	39,082
セグメント利益又は損失(△)	△8	919	910

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	910
セグメント間取引消去	0
棚卸資産の調整額	△86
四半期連結損益計算書の営業利益	824

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動認識ソリューション事業(日本)	自動認識ソリューション事業(海外)	合計
売上高			
外部顧客への売上高	17,536	16,452	33,989
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,221	2,166	3,387
計	18,757	18,619	37,376
セグメント利益又は損失(△)	△210	2,169	1,959

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,959
セグメント間取引消去	0
棚卸資産の調整額	200
四半期連結損益計算書の営業利益	2,160

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。